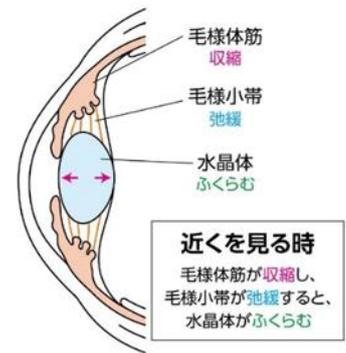


サイプレジン(調節麻痺剤)による屈折検査について

◆検査目的◆

物を見ようとする時、目の中の筋肉が緊張し水晶体を厚くすることでピントを合わせる事を調節といいます。子供の場合、その筋力が強い為余分な調節をしてしまい通常の検査では正確な目の度数が測定出来ません。その為調節を麻痺させる「サイプレジン」という点眼薬を用いて調節がかからない状態で度数を測定します。

この検査をすることで眼鏡治療が必要かどうかの判断、また正確な眼鏡の度数測定が可能です。



◆検査の方法◆



- ▶サイプレジン点眼液(調節麻痺剤)と眼底を診察する為のミドリン P 点眼液(散瞳剤)を使用します。
- ▶5分おきに**サイプレジン点眼液を2回**、**ミドリン P 点眼液を1回**点眼します
- ▶最初の点眼から1時間後に屈折(近視・遠視・乱視)を測定します。

◆注意点◆



※通常2~3日ほど散瞳(瞳が開く)状態になりますので光を眩しく感じたり近くが少し見にくくなったりします。

→日常生活には問題ありませんが、目薬が効いている間は念のため自転車の運転や激しい運動はお控えください。

※点眼、検査、診察時間を入れると1時間半~2時間程度お時間がかかりますので基本は予約の検査となります。必ずお電話か Web にてご予約をお願い致します。その際にサイプレジン検査の旨をお伝えください。